

荷重位撮影における体位の安定性に関する研究

研究の意義・目的について

股関節や膝関節の変形が進行すると人工関節を用いた手術の適応となります。手術の前には足の長さを始めとした様々な評価を行うために足全体を一度に撮影します。

特に、立った状態の評価をするときは、自然な姿勢で撮影することが重要です。

当院では足全体を横向きに撮影するときは、撮影しない側の足を上げた姿勢で撮影するためとても不安定です。撮影の時にはふらつき防止のために手すりを持ってもらいます。

今回の研究では、足の上げ方や手すりの位置によってどのように姿勢の安定性が変わるか検討し、より安全に撮影できる姿勢を模索することを目的としています。

研究方法

健常者のボランティアの方に、撮影しない足を上げ、撮影する足に体重をかけた姿勢になってもらいます。足の上げ方を 60° 、 90° 、最大の3段階で変えて、最も撮影する足に体重がかかる上げ方を決めます。そして、最も体重がかかる足の上げ方の時に、手すりの位置を肩の高さと腰の高さに変えて姿勢の安定性を5段階評価で評価してもらいます。撮影側の足に十分に体重がかかっているかは体重計を用いて確認します。

研究対象

健常ボランティア

膝に疾患があると診断されているボランティア

利用するものの範囲

当院放射線部放射線技師

利用する情報

撮影する足にかかる体重の割合

安定性についてのアンケート結果

予測される利益・不利益について

この研究に参加いただいたボランティアなどに直接生じる利益はありません。また、新たな負担などの不利益もありません。

個人情報の保護について

当院の患者等の個人情報保護に関する規定に従い遵守します。

研究過程および発表またはその後において、個人情報特定されたり、漏出することのないよう十分配慮します。

研究結果の保存場所と期間について

本研究結果を含む関係資料は下記の研究責任者が外来診療棟 4F 放射線部技師控室で保存します。保存期間は研究終了後 3 年間です。

研究結果の公表について

本研究結果は学会発表・論文などで公表する予定です。

費用について

この研究に関してご負担いただく費用はありません。また、謝礼もありません。

同意撤回について

この研究の参加を中止したいときは、同意撤回書を記入していただき、その後情報は利用しません。

お問い合わせ先

天理よろづ相談所病院放射線部 堺 菜緒（研究責任者）、寺口 昌和（技師長）
電話 0743-63-5611（内線 7419）